

2005 年度 公民科倫理  
「生徒による授業評価」  
調査結果と考察

2006 年 3 月 20 日

千葉県立千葉東高等学校  
片岡勝規

# 片岡担当公民科倫理授業評価アンケート実施概要

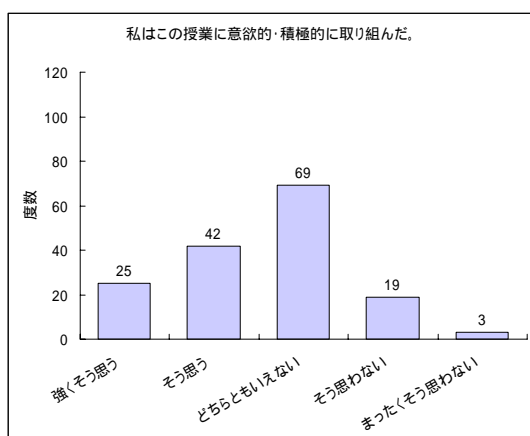
2005 年度千葉東高等学校の文系生徒必修の公民科倫理の最後の授業で下記の通りの項目でアンケートを実施した。調査は無記名で行い，クラスと性別のみを記載してもらった。なお，この調査の実施にあたっては「東京都立大学 2002 教育活動の改善 - 評価を活かす」（URL：http://www.metro-u.ac.jp/news/jik2003\_01.htm）を参照し，アンケートの項目や集計の方法において参考とした。

講座受講者数：195 人，有効回答数：158（81.0%）

片岡担当公民科倫理授業評価アンケート		
評価者 3年____組（男・女）		
下の質問について，次の観点から評価して適当だと思う数字に をつけてください。		
5．強くそう思う 4．そう思う 3．どちらともいえない 2．そう思わない 1．まったくそう思わない		
<b>【あなたの授業に対する取り組みについて】</b>		
1.	私は、この授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[ 5 4 3 2 1 ]
2.	私は、この授業を適切に、客観的に評価する自信がある。	[ 5 4 3 2 1 ]
<b>【授業について】</b>		
3.	この授業は、目的が明確で、体系的になされていた。	[ 5 4 3 2 1 ]
4.	教科書、資料集、プリント、黒板等の使用が授業の理解に役立った。	[ 5 4 3 2 1 ]
5.	授業全体を通して、授業内容の難易度は適切であった。	[ 5 4 3 2 1 ]
6.	教員の話し方は聞き取りやすかった。	[ 5 4 3 2 1 ]
7.	教員は、効果的に学生の授業参加(質問、意見等)を促していた。	[ 5 4 3 2 1 ]
8.	教員は、生徒の質問、意見等に対し、明快に、わかりやすく対応していた。	[ 5 4 3 2 1 ]
9.	授業に対する教員の熱意が感じられた。	[ 5 4 3 2 1 ]
<b>【授業についての満足度】</b>		
10.	私は、この授業を受講して満足した。	[ 5 4 3 2 1 ]
11.	私は、この授業を受講して、より興味を持ち、深く学びたいと感じた。	[ 5 4 3 2 1 ]
12.	私は、この授業をほかの学生に薦めたい。	[ 5 4 3 2 1 ]
<b>【自由記述】 次の質問について自由に書いてください。</b>		
13.	この授業について改めて欲しい点を、具体的な提案を含めて記述してください。	
14.	この授業で特に良かった点、他の授業でも取り入れて欲しい点などを記述してください。	
15.	片岡の倫理の授業について自由に記述してください。	

## 調査項目別集計と分析

### 項目 1 . 生徒からみた授業に対する意欲的・積極的取り組み

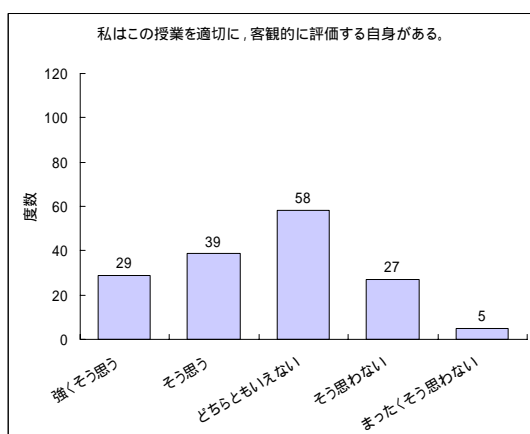


授業に対する取り組みについては、「強く思う」と「そう思う」を合計すると 42.4% の生徒が意欲的・積極的に取り組んだと自己評価している。一方、「そう思わない」と「まったくそう思わない」を選んだ 13.9%の中には、自由記述の回答の中で、自分の受験科目ではないことを理由にしたものが見受けられた。

項目 1 回答「 1 」生徒による項目 13 の回答例

「倫理を受験で使わない生徒は、倫理の勉強しなくていいんじゃないかな」

### 項目 2 . 生徒からみた授業に対する客観的評価への自信

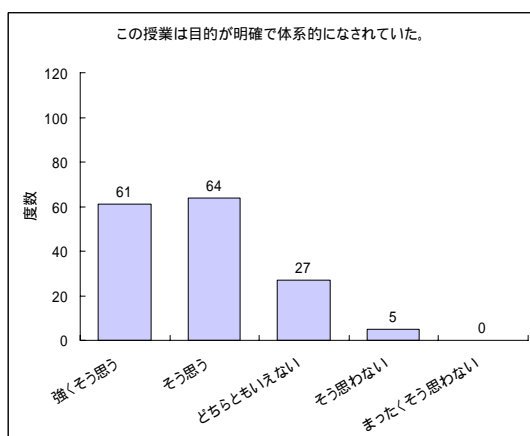


授業に対する客観的評価への自信については、「強く思う」と「そう思う」の合計が 43.1%。「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計が 20.3%。「どちらともいえない」を選んだ生徒は 36.7%である。

項目 2 回答「 1 」生徒による項目 15 の回答例

「受験には必要なかったが、一年勉強してよかったと思う」

### 項目 3 . 生徒からみた授業の目的明確性と体系性に関する評価

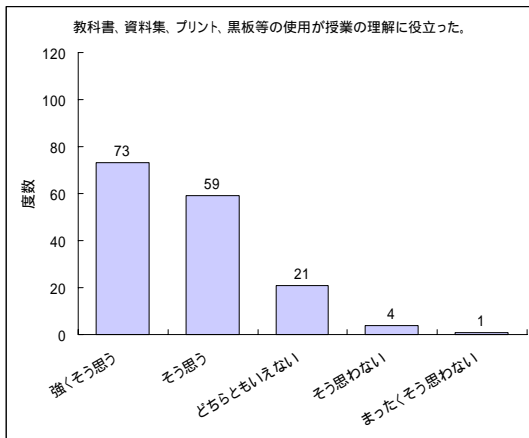


授業の目的明確性と体系性については、「強く思う」と「そう思う」を合わせて 79.7% の生徒が肯定的に評価していた。一方、否定的な評価は、「そう思わない」の 3.2%であった。

項目 3 回答「 5 」生徒による項目 14 の回答例

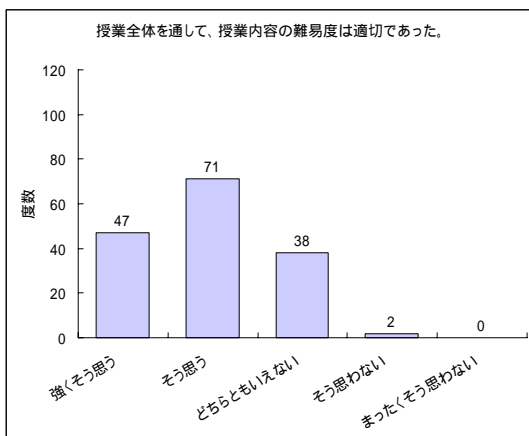
「年間を見通して体系的になされた授業がとてもよかったです。センターを常に意識していて助かる」

#### 項目 4 . 生徒からみた授業の教材類に関する評価



授業の教材類の役立ちについては、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせて 83.5%の生徒が肯定的に評価していた。自由記述の回答によれば、授業プリントや定期考査とその解説、ホームページでの過去問の公開の評価が高かった。一方、否定的な評価は合わせて 3.1%であったが、改良点として板書の読みにくさや穴埋め指示の不明瞭が多く指摘されていた。

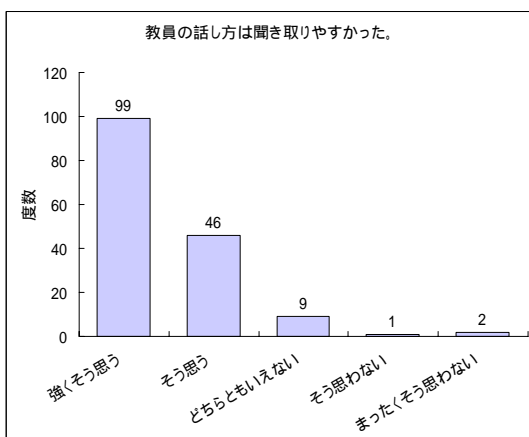
#### 項目 5 . 生徒からみた授業の難易度に関する評価



授業の難易度については、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせて 74.6%の生徒が適切であると評価していた。一方、否定的な評価は、「そう思わない」の 3.2%であった。授業内容に対してよりも、生徒への発問の難しさの指摘がいくつかあった。

項目 5 回答「5」生徒による項目 13 の回答例  
 「時々答えづらい質問があること（今君は何に興味があるか？みたいなもの）」

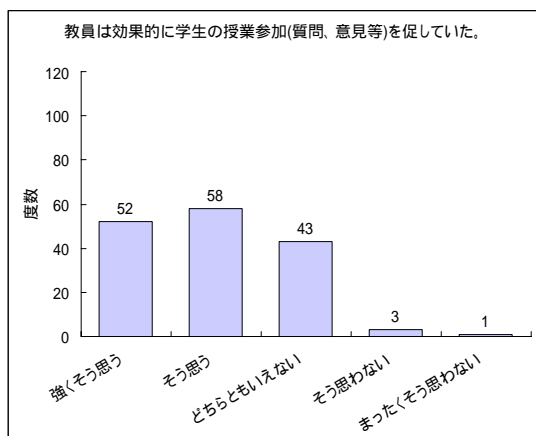
#### 項目 6 . 生徒からみた教員の話し方の聞き取りやすさに関する評価



教員の話し方については、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせて 92.4%の生徒が聞き取りやすいと評価していた。

項目 6 回答「5」生徒による項目 14 の回答例  
 「先生の聞き取りやすい声」

### 項目 7 . 生徒からみた教員による授業参加への促しに関する評価

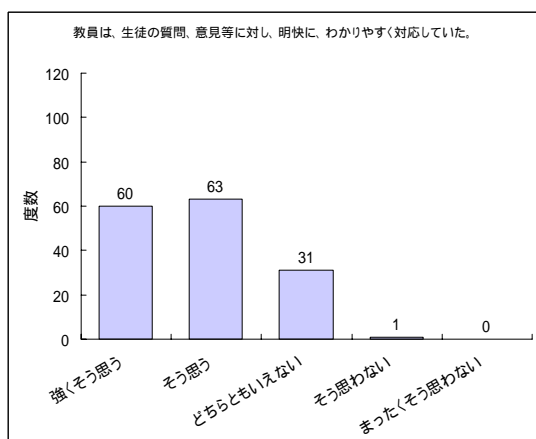


教員の授業参加への促しについての評価は、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせて70.0%の生徒が効果的だったと回答していた。その一方で自由回答では三学期のセンター試験前の授業を否定的にとらえ、自習にして欲しいとする意見もあった。

#### 項目 7 回答「4」生徒による項目 13 の回答例

「3学期の授業は、倫理の授業をするのならば、学年末は小論文ではなく授業レポートやテストにした方が生徒の授業に対する意識が上がるのではないか」

### 項目 8 . 生徒からみた教員の質問への対応に関する評価

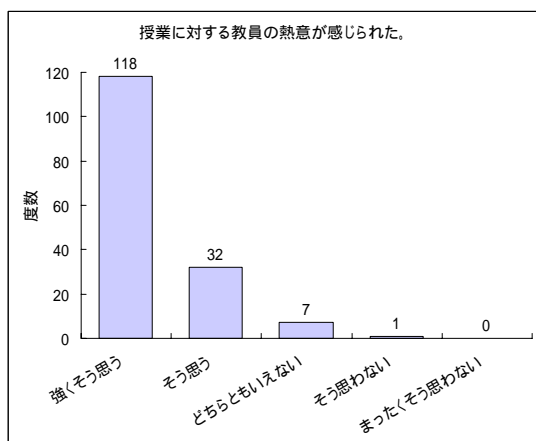


教員の質問への対応については、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせて79.3%の生徒が明快にわかりやすかったと回答していた。否定的な回答は「そう思わない」の1名だけであった。自由回答の中には電子メールによる質問の受け付けのしくみを評価する意見もあった。

#### 項目 8 回答「5」生徒による項目 14 の回答例

「プリントがわかりやすかった。メールで質問できるのはすばらしいと思います！（つかってないですけど）」

### 項目 9 . 生徒からみた授業に対する教員の熱意に関する評価

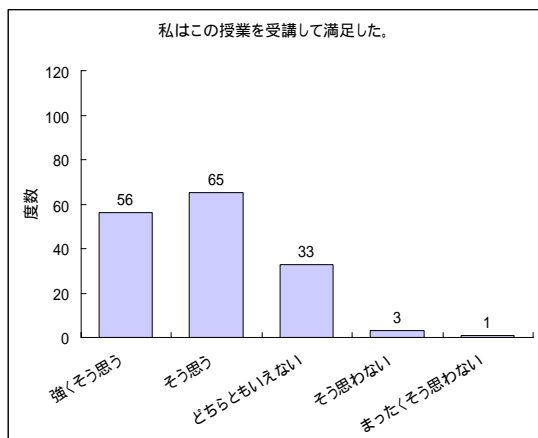


授業に対する教員の熱意についての評価は、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせて95.0%の生徒が肯定的に回答していた。否定的な回答は「そう思わない」の1名だけであった。

#### 項目 9 回答「5」生徒による項目 15 の回答例

「先生の倫理に対する熱意がひしひしと伝わってくる授業でした。受験では倫理は使わなかったけれど、私にとってとても存在価値のある授業でした」

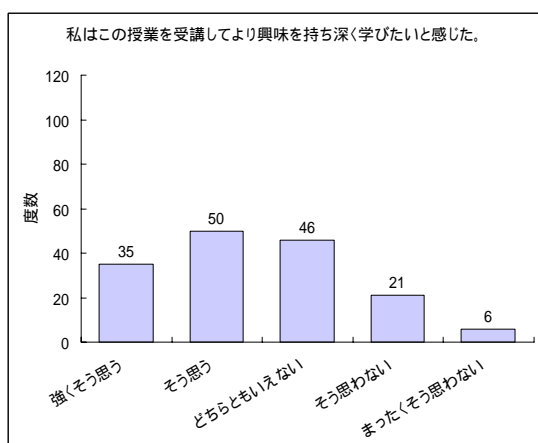
### 項目 10 . 生徒からみた授業に対する満足度に関する評価



授業に対する生徒の満足度の評価は、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせて 76.5% の生徒が肯定的に回答していた。否定的な回答は「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計 2.5% であった。

項目 10 回答「1」生徒による項目 13 の回答例  
 「補習に出ないとすべてを学べないところ。授業でやれないところは簡単にまとめられたプリントの配布を希望」

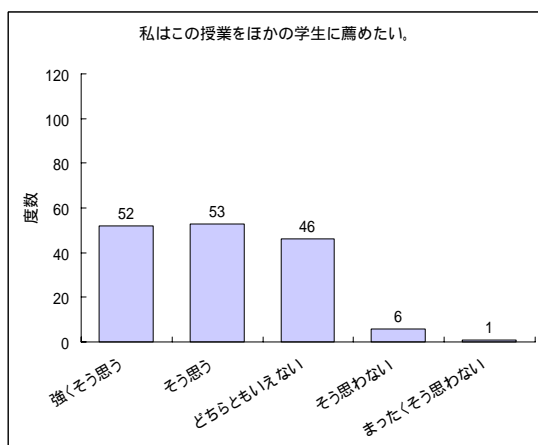
### 項目 11 . 生徒からみた授業を受けた後の学問探求心に関する評価



授業を受けて、より興味を持ち深く学びたいと思ったと回答した生徒は、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせて 53.8% だった。否定的な回答は「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計 17.1% であった。

項目 11 回答「1」生徒による項目 15 の回答例  
 「倫理はよく分かりません。何のために勉強するのかも分からずじまいだったせいもあり、興味がわきませんでした。片岡先生は声質が良いと思います。(歌ではなくて)教養かも知れないけれど、やはり好めない教科でした」

### 項目 12 . 生徒からみた授業を他の生徒に薦める度合いに関する評価



この授業をほかの生徒に薦めたいと回答した生徒は、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせて 66.4% だった。否定的な回答は「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計 4.4% であった。

項目 12 回答「5」生徒による項目 15 の回答例  
 「先生が終始一貫して熱をこめて授業をしているのが非常に好感を持た。僕は受験で倫理は使わなかったのだが、今は倫理を使うべきだったと思っている。(世界史とのリンクも深いので)僕の周りの友人をみても、先生の授業を一年間まじめにうければ、センターも成功できるんだと思った。」

## 項目 13 . 授業について改めて欲しい点の具体的な提案を含めた記述 (全回答)

### 教育課程について

自由選択にした方がよい

受験で使わないから選択制にして欲しかった。

倫理を受験で使わない生徒は、倫理の勉強しなくていいんじゃないかな。

この授業が3年でなく1, 2年であればもっと積極的に取り組めたとと思う。使用しない科目に3年の後半で力を入れるのは難しい。

1年で終わらせるのはちょっと勿体ない気もする。興味のある人, 無い人がはっきり分かれていたけど。

3年でやるのがよくないと思う。あるいは週3時間にするか政経と倫理を完全に分けた方がいいと思う。プリントの穴埋めが少ないと思う。

### 授業計画について

補習に出ないとすべてを学べないところ。授業でやれないところは簡単にまとめられたプリントの配布を希望。

夏休みと2学期が重複しないようにしてほしい。

### 3学期の授業のあり方について

1月に入ってからは、倫理受験者以外は自習でいいと思う。

3学期になってから自習時間を取り入れること。

センター試験前の授業は倫理選択者以外は自習をさせて欲しい。

センター直前などは倫理を使用しない人も多いので、なるべく自習にしてもらえればうれしいです。

3学期の授業は、倫理の授業をするのならば、学年末は小論文ではなく授業レポートやテストにした方が生徒の授業に対する意識が上がるのではないかな。

3学期のレポートよりもテストの方が負担が少ない。

3学期は倫理受験じゃない人は自習がいいと思う。

入試で倫理を使わない人は3学期自由参加にして欲しかった。

政経のように3学期はレポートのみか、授業だけでレポートなしかどちらかがよかったです。

### 板書について

黒板が読みにくい。あと、授業中にしっかり話を聞いていても、先生がどこ(資料集とかプリントとか)の話をするのかわからなくなったり、プリントの穴埋めの指示が明確じゃないと思います。

黒板が分かりづらい(そんなに問題ではない)

黒板の書き方をもう少しきれいにしてほしい。

黒板をもう少し使って欲しいです。

まれに黒板の文字が読み取りにくかった。他に、欲を言えば、授業プリントに絵図がもう少しあれば文字に圧倒されることもない(特に初めのころ...)と思います。

もう少し黒板をきれいに書いて欲しい。

特にないが、強いて言えばもう少し板書を見やすくした方が...

たまに字が読めません。

### プリントについて

プリント, 黒板の見方がよくわからないときがある。

プリントに書くところを多くした方がより理解が深まるのではないのでしょうか。細かいことですが、チェック欄みたいなものがあれば、テスト勉強やセンター前の確認に役立つと思います。

穴埋めのところを全部黒板に書いて欲しい。聞き逃しちゃうとわかりにくい穴埋めなので。

プリントに空欄がもう少しあった方が頭に入りやすいかな?と思います。

プリントにくわしく書いてあるので黒板を使う必要がないのでは? もしくはプリントを簡素化して黒板を写すスペースを多く取るか...とどちらかに統一した方が良いのではないかと私は思います。

プリントに思案の体系等を図にしたものが載っていたが、あれをもう少し増やしてくれると、より理解しやすいのではないかなと思った。(特に社会契約説や古代ギリシャの思想)

プリントにメモをとるスペースがほしい。板書の字が読みにくい。

プリントにもう少し思想家たちの考え方の図を取り入れるともっとよくなると思います。

プリントの( )をとばして次の( )の説明に行って、その後なんだかいつの間にか上の( )に戻ることが少し数回あったので、もうちょっと強調というか2~3回くらいこの( )の話にとんだのかなど言って欲しいと思いました。

プリントの穴埋めに何が入るかをもう少しはっきり示してほしいです。

プリントのどの空欄に書けばいいのかがたまにわからなくなってしまったので、番号をふるとか、何かあればいいと思いました。

プリントをもっとわかりやすくしてほしい。

聞き漏らしてしまうとプリントに入る語句が黒板から読み取りずらかったです。

授業のプリントのサイズはB5が望ましい。

### 教科書の使用について

あまり教科書は必要ない気もした。

教科書の存在が薄い。だからといって具体的な提案はないのですが。

### 資料集の使用について

指定された資料集の読むところがなかなか見つからず、ついて行きづらいところがあった。最初の一文じゃなくて、位置を表して欲しい(右上とか、まん中らへんとか)プリントの穴埋めがわかりづらかった。箇条書きの方が嬉しいかも。

資料集が詳しくすぎて使いづらかったです。

### 授業進度について

授業の進みが遅いと倫理受験者の人に聞いたので、もう少し早く進めてほしいと思います。

資料集に書いてある内容はやる気がある人は自分で読めるのだからわざわざ生徒に読ませて授業進度を遅くするのはどうかと思う。

進度が遅い。補習をしてもカバーしきれないところが出ているのでは？

進度を早めた方がいいと思う。点数比重(28点)を考えると、来年からは「現代社会と青年期」の分野は朝補習ではなく、授業が放課後補習を行った方がいいと思う。(今年の傾向としては源流思想は易しかったと思う)

少しテンポを上げてください。

### 発問について

たまに質問が難しかったと思います。

時々答えづらい質問があること(今君は何に興味があるか?みたいなもの)仏教が一番苦手なのに、そこを教育実習生がやったので理解しにくかった。(教生が悪いというわけではないけど)公民を2年次からやって欲しかったです。

生徒に対する質問(問題?)が抽象的で何を答えたらよいのかとか、なにを聞いているのかが分からず、ちょっと戸惑いました。倫理はもともとそうなのかな?とも思いますが、「~は何?」といった類の質問の仕方は返答に困ります。「~の言った言葉は?」とか「~は何主義?」とかもう少し答えやすい聞き方にしてほしかったです。

### その他授業の内容について

授業が午後だと眠くなってしまいました。もっと指名注意してもいいと思います。というか寝てたらしして下さい。

寝ている人を指すこと。

センターで倫理を受験しない人を指さないでください。

授業にメリハリが欲しいです。

哲学(?)とか思想の流れがもっとわかれば、個人の思想とか考え方についてももっと深く理解できたと思います。

ないです でもテストが難しかったー

内容がむずかしい(細かすぎて大変!)と思うことが何度かあったので、重要なものとそうでもないものなどがわかりやすいと、自分で勉強するとき効率よくできるのでは、と感じた。(あと、プリントのサイズがB4だとうれしかったなと思いました)

入試&テストにおける重要度などをもっと言ってほしい。

年代が行ったり来たりしていて、ちょっとこんがらがったが、同じ思想でまとめられているということを考えれば、やむを得ないのかと。

暗記するところを減らしてほしい。

用語集のプリントが1回だけ配られたけど、良かったのでテスト前には毎回配って欲しいです。

倫理受験にはとても良い授業だと思う。

完璧だった。仏教のところが急だった。

現代と近代をもうちょっとやってほしかった。

公民はとっつきにくいので具体的な例で身近に考えさせて欲しい。教科書や資料集がとびとびだったので、ゴチャゴチャになってしまった。

考え方の視点が違うことが多いので例をふやしてほしいと思いました。

もう少し先生の歌が聞きたかったです。



## 項目 1 4 . 授業で特に良かった点、他の授業でも取り入れて欲しい点の記述（一部回答）

### 授業プリント・考査解説プリントの使いやすさ（45 件）

プリントによる授業は話に集中できると思うので、他の教科にも取り入れてほしい。

プリントの内容が分かりやすく、センター直前の見直し他、さまざまところで役立ちました。

分かりやすいたとえ話は本当に理解しやすく、倫理を身近に感じられたようでとてもためになった。プリント形式の授業は自分で書き込んだり、見直しで要点をつかんだりしやすく、とてもよかった。

定期テスト等で得点率などがわかりやすく、解答解説もわかりやすかった。

### 定期テストの過去問のホームページでの公開（8 件）

過去問を HP に掲載していただけたところは、定期テストにとっても役立ち、良かったと思います。

### 授業の説明のわかりやすさ・おもしろさ（27 件）

キリストの話に感動しました！

分かりやすいたとえ話は本当に理解しやすく、倫理を身近に感じられたようでとてもためになった。プリント形式の授業は自分で書き込んだり、見直しで要点をつかんだりしやすく、とてもよかった。

プリントがわかりやすくてよかった。教科書にはのってないエピソードみたいのを話してくれて、その人の違う一面が知れて面白かった。

説明の途中の具体例（特に覚えているのは、イドラの説明の時の口裂け女とかトイレの花子さんとか、あとは目玉焼きに何かけるかなどのお話です）のおかげで難しい思想がすんなり受け入れられたのでよかったです。

### センター試験への対応（9 件）

とにかく資料の分析がすごい！私は「倫理」は苦手だと最初感じていたのでセンターで使わないと決めてしまったけれど、この授業とデータを本気で活用すれば間違いなくいい点が取れる！

センター対策がきちんとされていてとても助かりました！ HP 等も役だったしおもしろかったです。

### 授業計画（2 件）

授業計画を確実に伝えてもらったのが良かった。

年間を見通して体系的になされた授業がとてもよかったです。センターを常に意識していて助かる。

### 補習（2 件）

話が分かりやすかったです。おそらく、センターで利用する人にとっては夏の補習がかなり役に立ったと思う。

過去問演習の補習。

### 資料集（2 件）

資料集が他の科目よりも読んでいておもしろかったと思う。

資料集を多用するところ。資料集は分かりやすいし面白くて、倫理受験者だけではなく世界史日本史受験者にも役立つと思います。

### 教員のキャラクター（10 件）

なごめる空気

先生が積極的に歌をうたうのがよかった。

先生が!!本当に倫理を好きで授業をしている感じがとてもよかったです。

### 他教科との関連（5 件）

世界史や日本史にも関連のある分野だったので「倫理やってよかった！」と思うときや、逆に倫理の時に「世界史やってよかった！」と思うときがよくありました。

日本史でも出てくる鎌倉仏教や近世・近代の思想や学問についてより詳しく学ぶことができた点と、政経に出てくる社会契約説をより深く理解できた点。

受験で倫理は使わなかったけど、定期テストのために勉強した日本思想が日本史の勉強にとっても役に立ちました。

### その他

物事を深く考えさせてくれた、とても言いましょうか。どこが良かったかと聞かれると難しいが、生徒が自主的に学べば思慮深い人間が増えるのではなからうか。

## 項目 15 . 片岡の倫理の授業について自由記述 (一部回答)

- ✚ 著名な先人の考えを1つでも多く知ることができたことは全体にプラスになると思った。
- ✚ キリストの話の時は私も本当に楽しく、一生懸命片岡先生の話聞いたのを覚えています。一年間ありがとうございました。
- ✚ 私は倫理選択者じゃなかったけど、いろんな学者の思想や生き方など知ったりすることができ、興味を持ったこともあった。具体的に例を出してくれたり身近なことで例えてくれたのでわかりやすかった。一年間ありがとうございました。
- ✚ 世界史の範囲のところ特に楽しかった。ヨーロッパとか。あたしはゴルギアスの思想が好きです。「なにも存在しない...」ってやつ。片岡せんせーの倫理受けてからいろいろ深く考えるようになりました。ありがとうございました!!!
- ✚ 倫理を習う前は、意味のよく分からない教科だと思っていたけど、先生の授業を受けてから、案外楽しいことに気づきました。他の教科と違って、出てくる人物の思想を理解できれば、定期テストでもかなり高得点が狙える!! 勉強すればするほど成績が伸びると思うので、やる気が出てよかったです。1年間ありがとうございました。
- ✚ 授業のプリントがまとめやすく、やりやすかったです。授業自体も面白くてわかりやすかったです。倫理は他の教科にもつながる部分もあったので、役に立ったと思います。
- ✚ いろいろな思想を学べたので生きていく上で役に立つと思う。倫理は複雑だけど、思っていたよりも、面白くて少し興味を持てた。
- ✚ 受験がなかったら、もっと倫理を深く勉強したかったです。
- ✚ 先生自身が現在進行形で倫理に興味を持って、積極的に新しい倫理の現状を研究しているように感じられて、いつも生き生きとした授業だったと思います。
- ✚ 先生が終始一貫して熱をこめて授業をしているのが非常に好感を持てた。僕は受験で倫理は使わなかったのだが、今は倫理を使うべきだったと思っている。(世界史とのリンクも深いので)僕の周りの友人をみても、先生の授業を一年間まじめにうければ、センターも成功できるんだなと思った。
- ✚ 政経受験だったし、倫理自体が理解しにくいところがあったけど、学校の授業としてでなく、趣味的(?)な感じで改めて勉強してみたいと思った。先生の話(雑談)は楽しかったです。
- ✚ いろいろな人物の思想について知れて、その人物についての理解度が深まった。時々問われる面白い質問とか、ふいに歌い出したりするところとかも倫理の授業の楽しみの1つでもありました。
- ✚ テストとかは全然できなかったけど、倫理の話はけっこう好きでした。キリストの話が1番印象深くて、家とかでも話したりしました。私は使わないから正直気を抜いてしまったけれど、使う人にとっては分かりやすいいい授業だったと思います。『塩狩峠』オススメです。読んでるとは思いますが。
- ✚ 「倫理って哲学のこと?」ってかんじに思っていたけれど、さまざまな人の思想を学んで、なるほど~ってすごく納得できたり、すごいことかかんがえるなど感心できたり、本当に楽しかった。先生の雑談もすっごくおもしろくて、とても楽しめました。今まで本当にありがとうございました!!
- ✚ 授業は難しく、かたい感じではなく、あまり身近にない話、発想も聞き入れやすかったです。1人1人に焦点をあててその人の思想、生きざまをわかりやすく、面白く授業として話してくれるので楽しめ、興味もわきました。さまざまな思想が世の中には無限にあるのだと実感し、高校の授業だけで終わらせたくはないと思いました。ありがとうございました。
- ✚ 倫理の知識がすごい豊富で驚きました。難しい思想を話すときの例が上手でわかりやすかったです。
- ✚ 直接倫理を受験することはなかったけど、授業は有意義でした。現社に倫理を少し使ったのですが、資料集が役立ちました。脇にある小話を読んでおくと記憶に残ってたりして助かりました。一年間ありがとうございました。
- ✚ 資料集などを読んだだけでは分からないことも、先生の説明を聞くと、「なるほどな」と分かることが多く、とても良かったです。今まで全然知らなかった哲学という学問について少し知ることができて、興味を持つことができました。1年間、楽しく倫理を学べました。ありがとうございました。
- ✚ 倫理はよく分かりません。何のために勉強するのかも分からずじまいだったせいもあり、興味がわきませんでした。片岡先生は声質が良いと思います。(歌ではなくて)教養かも知れないけれど、やはり好めない教科でした。
- ✚ 倫理は客観的にとらえることが難しく、具体性がない分理解するのが大変だったけど、片岡先生の授業は、皆に答えを求めたり、中には面白い質問を投げかけていて、すごく楽しかったです。1年間ありがとうございました!!
- ✚ さまざまな思想を知ることができ、現代につながるのはどういうものなのかなどを考えることができた。教養を高めることができたと思う。
- ✚ 倫理自体は聞いていて面白いと思うし、好きな教科の部類に入りますが、自分は公民で政経を使うことにしていたので、あまり授業に身を入れませんでした。2年時に倫理を学べばな...と思います。自分ではなかなか手をつけない日本史分野にもかかっていた日本思想もやっていただいたので、理解が深まった気がします。ありがとうございました!
- ✚ 私は政経受験だったけど、ギリシャ哲学の最初の方は引き込まれました。倫理は日本史世界史にも応用がきくし、教養として受けておいた方がいい授業だと思います。ありがとうございました。

## 「生徒による授業評価」実施後の考察

2005年度、千葉県の公立学校では「目標申告制度」が試行された。昨今の教育をめぐっての評価については《数値目標》の設定が求められることが多いが、教育効果を数量化しようという発想は、ベンサムがおこなおうとした快樂計算と同じく質的差異を無視する一面的な視点に立つものである。たとえば、自分の講座の受講生のセンター試験の平均点を数値目標として設定するのであれば、成績の伸び悩んでいる生徒に受験科目の変更を薦めれば数値は上昇する。また、授業に対する生徒の満足度をあげるためには、この講座を受験で利用しない生徒のために、授業負担や試験負担を軽くすることも考えられる。(p.6「教育課程について」、「3学期の授業のあり方について」の生徒の意見を参照)

実際に私が今年度申告した数値目標は、生徒の授業に対する満足度を80%以上にするということだったが、調査の結果は76.5%と残念ながら惜しくも目標を達成することができなかった。(p.5「項目10. 生徒からみた授業に対する満足度に関する評価」を参照)したがって、本来ならばこの調査の結果をふまえて来年度は80%以上の評価を得られるための考察を行うべきなのだろうが、ここでは新しい人事評価制度そのものを考察したい。

まず、今回実施したような「生徒による授業評価」は時間対効果が非常に低い。今回の調査は旧都立大学の報告書を参考に実施したが、結果として得られた成果に対してそのデータ処理のために使った時間と労力は膨大で、それは他の教育活動のために使われるべきであったと反省する。東京都では「生徒による授業評価」は2004年度から全都立高校で行われるようになったようだが、対時間効果を考えた場合、千葉県では実施されないことが望ましい。実際、多様な生徒のニーズと公教育の果たすべき役割が完全に一致するはずはないのだが、今回の調査でもそれは明らかであった。

また、目標申告制度についても同様に時間対効果は低く、運用の仕方によっては教職員のモラルの低下をもたらす可能性がある。なぜならば、もともとプライドと自信と目的意識を高く持って勤務している教職員にとってのこの制度は、よけいなお世話以外の何ものでもなく、たとえて言うならば、一生懸命勉強している生徒に対して「勉強しろ」と説教して学習意欲を失わせるようなものではないか。

目標申告制度において重視されている教育目標の数値化についても、経済効果とは異なり教育効果の数値化は客観的なものにはなりえず、数値化される過程で捨象される教育の質が低下するおそれがある。今後これが勤務評定に関わってくるものであるならば、教育の質を落としてでも数値目標の達成(=賃金の上昇)を優先するという笑えない事態が十分起こりうる。

年度当初に私が考えたのは「授業に対する生徒の満足度」という項目であれば目標の数値化も有効ではないかということだった。しかし、何をもって生徒が授業に満足するかという生徒自身の尺度が多様である以上、やはりこれも数値化するにはなじまなかったということがわかった。やはり私たちは行政の言葉に惑わされることなく、自信とプライドと高い目的意識を持って職務にあたるべきであると実感した。